

農業委員会事務局の基本方針

(職員数は平成27年6月4日現在)

部局内の執行体制		
課名	課長名	職員数
農業委員会事務局	こいずみ ひろし 小泉 宏	7

基本方針

耕作者の効率的かつ安定的な農業経営と食糧の安定供給を図るため、生産基盤である農地について、その確保と利用集積を促進します。また、関係機関への働きかけにより、農業の持続的な発展を図ります。

平成27年度の目標

農地の有効利用を図るため、引き続き農地の所有から利用への転換を促し、農業経営の規模拡大を目指す担い手に対し、農地の貸し借り等により農地の利用集積・集約化を図ります。
遊休農地対策を推進するため、遊休農地所有者に対し農地の利用意向調査を実施し、農地の有効利用の促進を図ります。
違反転用等の啓発活動や農地パトロールなどにより、違反転用の発生防止、是正指導により、再発防止を図ります。
農業者の高齢化・担い手不足など農業を取り巻く環境は厳しい状況下であり、新たな担い手となる新規参入者の促進を図ります。
建議、要望内容を充実するため、関係機関、団体等との連携を強化します。

主な事業

農地流動化促進事業 (農業委員会事務局)	平成27年度の取組
	農業委員による貸し借りの斡旋及び農家へのリーフレット配布による啓発活動により、経営規模拡大を目指す担い手等への農地の集積を図ります。
	中間報告(平成27年9月末時点)
	約3.0ヘクタールの農地の新たな貸し借りを行いました。また、約2,000世帯の農家へ農地の貸し借りのリーフレットを配付するための準備をしました。
農業支援ワンストップ相談窓口事業 (農業委員会事務局・農水産課)	最終報告
	農家への農地の貸し借りのリーフレット配布による啓発活動と、農業委員による貸し借りのあっせん等により、約7.5ヘクタールの新たな貸し借りを行い、担い手への農地集積を図りました。
	平成27年度の取組
	農地の貸借等を促進する農地利用集積円滑化事業を実施し、農地の利用集積を図ります。
農業支援ワンストップ相談窓口事業 (農業委員会事務局・農水産課)	中間報告(平成27年9月末時点)
	農業振興地域内農用地での貸し借りはありませんでしたが、その他の農地で3件(10筆)の貸し借りを斡旋しました。
	最終報告
	11件(24筆)の農地の貸し借りを斡旋しました。